

4 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

1. 招集年月日 令和6年4月11日（木）
2. 招集の場所 海田東小学校
3. 開会（開議）令和6年4月11日（木）9時30分宣告
4. 出席者

教育長 森山 真文 委員 林 孝 委員 米丸 禎宏
委員 大野 美恵子 委員 竹岡 美佳

5. 説明のため出席した者の職氏名

教育次長 新藤 正敏 学校教育課長 小村 孝広
教育指導監 立田 春美 主幹 高木 和希
生涯学習課長 森原 知美

6. 職務のため出席した者の職氏名

係長 田村 友美

7. 議事日程

- 第1 会議録署名者の指名について 林委員
- 第2 報告協議第15号 海田町教育委員会事務局事務決裁規
程の一部を改正する訓令について
- 第3 報告協議第16号 生徒指導上の諸課題について
- 第4 報告協議第17号 各行事の開催及び結果等について

8. 議事の内容

9 : 3 0 開始

○教育長（森山） それでは4月教育委員会会議定例会を始めます。本日の会議録の署名は、林委員にお願いいたします。それでは議事に入ります。報告協議第15号、海田町教育委員会事務局事務決裁規程の一部を改正する訓令について、を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長（小村） 資料の2ページを御覧ください。海田町教育委員会事務局事務決裁規程の一部を改正する訓令につきまして、教育委員会に報告するものでございます。資料については、3ページから6ページまでを御覧いただければと思います。まず3ページでございますけども、この度の一部改正につきましては、庁舎内の部、課等の改編に伴うものでございます。詳しく申し上げますと、財政課長のところを財政経営課長という形で改めさせていただいております。3ページの表にあります、寄附の受納の決定につきましては、資産活用課長、財政経営課長、を含めて、こういった形での変更になっております。詳細につきましては、5ページ目に新旧対照表を準備しておりますので、こちらを御覧いただければと思います。5ページの左側になりますが、財政課長が、全ての歳入金の調定及び支出命令について、財政経営課長に変更しております。6ページ、7ページにつきましても、財政経営課長として変更して

いるところでございます。この訓令につきましては、令和6年4月1日からの施行ですので、どうぞよろしく申し上げます。

○教育長（森山）今の説明について、御質問等がございますか。庁舎内の組織改編に伴いまして、予算関係の事務処理が、課の名前が変わったり課長の名前が変わったりということで、字句の整理ということが主になります。いかがでしょうか。

（全委員から異議なしとの声あり）

○教育長（森山）それでは、次にいきたいと思います。報告協議第16号、生徒指導上の諸課題について、を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○教育指導監（立田）8ページを御覧ください。報告協議第16号、生徒指導上の諸課題についてを、教育委員会に報告するものでございます。御説明いたします。資料9ページを御覧ください。3月末の値について小学校から御説明をさせていただきます。暴力行為は24件、前月と比べまして3件の増加でございます。いじめは7件です。前月から変わっておりません。不登校は31名、前月から3人増えております。中学校については、暴力行為は18件、前月から1件増えております。いじめは11件で、増減はありません。不登校は41人で先月から1人増えています。不登校についても、小学校で3人増えております。これは、昨年度も不登校だったけれど、この子たちは一昨年度、令和4年度に比べると、登校できるよ

うにはなっている。けれど、時々休むと。それが、この3月末で30日を超えてしまったということで、3人計上をしております。この子達に対して、中学校もそうなんですが、担任やクラス替えについて配慮をして、場合によっては、配慮が必要な子どもたちに対しては、新学期が始まる前に、新しい担任から電話をさせるとか連携をさせる、ということで、子どもたちも4月になって気持ちも新たにがんばろうとしていますので、そこをうまく学校が子どもたちに寄り添いながら、いいスタートが切れるようにと取り組んでいるところでございます。ただ子どもたちに寄り添うというのを、この時だけではなく、1年間を通じてしっかり寄り添うということを考えながら、取り組みを進めさせていただきたいと思っております。報告は、以上です。

○教育長（森山）委員の皆さまはどうですか。何か御意見があれば。

○委員（大野）不登校については、いろいろ理由があるんだろうと思うのですが、何かどこかで支えることができないかなと。どういう形が取れたらいいのかなと、いつも悩むんです。でも、原因というのは、多分1つにまとめられないんだろうと思うんです。いろんなものが、深くかみ合わさってできている、症状が出ているんだろうと思うんです。理由というところが、学力不振なのか、新聞に、ちょっと統計が出ていたような気がするんですが、学力ひとつだけでなしに、対人関係、家庭、というようにいろんな要因があるらし

いのですが、どういう傾向が強いのかというのを教えていただけたらいいなと思いましたので、今後お願いしたいということと、今、寄り添ってという言葉があったのですが、最近特に思うのですが、寄り添うって10人いたら10人みんな感じが違うんですね。受け取る側が。具体的に、こういうふうに声をかけるとか、いろいろと言葉を変えて伝える、ということがいるんだなと思いましたので、私もそこは、学んだり、見たりしていきたいなと思います。以上です。

○教育指導監（立田）今、大野先生がおっしゃったのは、3月末に文科省が発表した不登校の原因のことだろうと思うのですが、いじめが原因になって、というところが、学校の把握と子どもたちの実態がちょっと違っていた、というところだろうと思うのですが、おっしゃるように、その子によってケースも違うし、思いも違うしというところがあって、子どもたちの声というか思いは、なかなか言わないけど聞いていかなければいけないんだなということを感じています。今、保護者の中でも、学校だけじゃないよね、っていう思いを持っている方もいらっしゃるのかなっていうのを、統計とかではなく肌感覚で感じる場所があります。学校に来ると一番嬉しいし安心ですけども、そうじゃなくて、あなたはそこに行きたいね、というのをしっかり受け止めてあげるというのも寄り添う一つなのかなと思ってみたり、そういうところを学校と話をし

ながら、この子はどういう支援がいいのかねということを考えて
いかないといけないのかなと思っています。

○教育長（森山）竹岡委員いかがでしょうか。

○委員（竹岡）いろんな選択肢があって、学校にこだわらない方も多
くなってきていると。確かにそれもそうだなと思って。S C H O O
L “S”とかS S Rとか、そこに行けることができたとか、そこに
楽しみができた、ということであれば、ぜひ積極的に行けたらいい
なと思う一方で、ここも楽しいけど、本当は学校に行けたらいいな
という思いがあるかもしれない、やっぱり。そこは大前提としてこ
ちらは持っていて、やっぱり何度も声をかけてみることはやっぱ
り大切なのかなと思って。強制するわけじゃない、強要するわけ
ではない、けれども何度も声をかけてみることは、やっぱり大切な
かなというふうに思います。ノックし続けることは、やっぱり大事
かなと。時間もかかるし手間もかかることなので、大変だとは思
いますが、そういう取り組みもできればいいなというふうに感じま
した。以上です。

○教育長（森山）米丸委員どうでしょうか。

○委員（米丸）年度替わり、学年替わりで、子どもたちの抱えている
思いも変わることもあるんじゃないかと思うし、そこを積極的に
後押しできたらいいいのかなと。ただ、文科省の発表にあったように、
児童生徒側から見たものと教師側から見たものが違うのは、当た

り前のことだと思うんですね。特に年度始まりで、先生も新たな気持ちでやっていただければいいのかなと思っています。

○教育長（森山）最後に林委員お願いします。

○委員（林）みんなの話を聞きながら、子どもの学びを止めないんだという、そのところを基本におかないといけないのかなと。選択肢はいろいろ増えてきているし、その中で、学校って楽しいよね、って思えるような。そういうふうな声をかけ続けるというか。一回でおしまいじゃなくて、何回も何回も。どうせだめだろうけど声かけるんじゃだめだと。ぜひとも一緒に学びたいというような思いをもって声をかけるということが大事なのかなというふうに思います。大丈夫だよ、安心できるとこだよというところを伝えていかないといけないのかなと思います。もう一つは、最初来れなかったのが、来れるようになって、そのあと、3月の末までに学校と切れていないということを目指していいんじゃないかなと。一方向に、何人、何人というのにとらわれなくても、その子どもたちが、山がありながらも進学するよ、というような気持ちになれるように見ていくというのでいいのかなと。この途中で学校に出て来れたら良しとして、30日を超えていても、最後の最後で来ていたらいいんだくらいの気持ちで声をかけ続ける。それが子どもたちにまさに寄り添うというふうなことなのかなと思います。ぜひとも、学びを止めないということで、広く考えていただけたらなと思って

います。

○教育長（森山）ありがとうございました。先日の研修会の時に表を出させてもらって、あれを見て先生方がどう思われたかなと。要は傾向なので、全てに当てはまるものではないけど、こういう傾向があるからこのようなスタンスで考えないといけないよということを、まずベースとして持つということが大事です。そのための数字の比較なので、そこのところは先生方、校内研修等でしっかり理解をしていただいて、元々さっきあったように、教師と子どもなので、隔たりがあって当然なんですよ。それが全く一緒だったら逆に言うと怖いですよ。理解しすぎている部分もあるし甘さが出ているかもしれないし。そこの部分は全体としての傾向を捉えた上で、先ほどあったように個々のケースがどう繋がっているのかというところをしっかりと見ないといけないのかなと。不登校と進学の関係はどうなんだろう。もし分かれば次の回で報告を。当然進路の報告があるんですけども、他の場所を紹介するという落とし穴は、子どもたちにいい環境が与えられるというところもあるのですが、担任の先生からすると距離感が出て、任せきってしまうという。結局、町の真田会館の適応指導教室でも、担任の先生とか学校の先生とかとの関係が、疎遠になってしまっていて、というところが見え隠れしますよね。学校はやはり、その子にとって居心地がいいところが見つかってしまうと、安心してしまいう、ということが

多々あるので。やはり学校の子どもですからね。その部分を学校が意識するような仕組み作りというか、つなぎをしないといけないかと思います。SCHOOL “S” もそうですし。そこは忘れないようにということと、先ほど林委員が言われたように、個々のつながりが年度をまたいでどうだったかというところを、しばらく見ていかないといけないのではないかなと思いますね。先ほど言われたように、トータル 30 日というところをどう捉えるかということであって、最初に 30 日いつてしまったけど、復活しとったらそれはそれで子どもたちにとっての成長ですので、もう一回、数字の中に見え隠れする子どもの実態をしっかり捉えて、学校と協議をしながら進めていくことを大事にしていけないといけないかなと思います。まだ確定値が出ていないので、比較というところでは難しいですけど、比較的海田町については数字が控え目です。去年の全国値とか、広島県平均とか見たときには、同値か、ちょっと少ないくらいなので、この傾向は大事にしながら、先ほど言った個々に目を向けるということは、41 人ですので、あれが何千人、何百人になるとですが、海田町のレベルで 41 人ということは、目が届くという範囲の人数なので、そこを大事にしていけないといけないかなと思いますので。進路未決定が悪いとかいいとかということではなくて、保護者の方の理解と、子どもと話をして次の準備に入っていれば、多分進路決定どうこうではないんだと思います。そ

ここまでしっかり追いかけて、うちも見ていかないといけないかなと思いますので。次の進路の時の説明に加えて、言ってもらったらと思いますので。すみませんがお願いします。それでは、次にまいります但よろしいでしょうか。

(全委員からよしの声あり)

○教育長（森山）報告協議第 17 号，各行事の開催及び結果等についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○教育次長（新藤）資料 11 ページをお願いいたします。報告協議第 17 号，各行事の開催及び結果等について，教育委員会に報告するものでございます。それでは，各課からそれぞれ説明いたします。

○学校教育課長（小村）資料 12 ページを御覧ください。まず学校教育課でございます。4 月の行事でございますが，海田町教職員研修会が 1 日にございまして，9 日の小中学校入学式には御出席いただき，ありがとうございました。5 月の行事でございますが，14 日火曜日から，教育長が全国町村教育長会総会で東京に行く予定となっております。次回，教育委員会会議の定例会につきましては，織田幹雄スクエアで，16 日木曜日に予定をしているところです。また，25 日土曜日については，小学校運動会がございしますので，また御案内をさせていただきたいと思います。30 日木曜日については，令和 6 年度広島県市町教育委員会連合会定期総会が，広島ガーデンパレスにて予定されております。以上でございます。

○生涯学習課長（森原）生涯学習課から御報告させていただきます。

資料 13 ページを御覧ください。4 月 29 日に、第 58 回織田幹雄記念国際陸上競技大会が開催されます。続いて 5 月 9 日、青少年育成海田町民会議総会が開催されます。5 月 17 日第 4 回織田幹雄書道巡回展を、6 月 6 日までふるさと館で実施する予定です。生涯学習課からは以上でございます。

○教育長（森山）5 月 10 日に、周南市立徳山駅前図書館へ視察に行く予定です。これは、町長の滞在型図書館というのが選挙の公約として挙げられていて、その関係で、周南市、徳山駅で、蔦屋がプロデュースしている図書館ですかね。近場だと徳山が 30 分くらいで行けるので、町長さんも一緒にということで、今年の生涯学習課のミッションになっていてですね。調べて、検討しなさいという。事務局の視察になりますが、お知りおきください。

○委員（竹岡）広島市内の大型書店がどんどん縮小しているのが、この春起きていることなので。本との距離感や関わり方が、大きく変変わってきているのが出ているのかと。その中で、図書館としてどんな形が必要なのかなというのは。

○教育長（森山）特徴的な図書館が、全国建ち始めています。海田町立図書館が古くなってきており、場所と機能的なものを検討する時期にきているものと思います。しかし、小学校の建て替えがありますので、すぐには予算的にも厳しい状況ではあります。

○委員（大野）すみません、ここで言ってもだめかとは思いますが、車で行ける図書館もいいなと思うのですが。海田町の道というのはすごく狭い、一方通行があったりなどもあるので。ここで言うただけではだめですが、町長さんがいるときに言ったほうが良いとは思いますが。道路が整備されていて便利になれば。

○教育長（森山）利便性の高い場所というところですかね。まずは。交通の便が良いというところで。周南市の図書館も駅と併設して、乗降の多いところに立地していますので。あと、今年度、千葉家が250周年になりますので、海田町としても千葉家を中心に様々な企画をしていきます。機会がありましたら、一般公開だけではなく、特別展やイベントを行っていきますので、しっかり行事をみていただきながら、参加したり御意見をいただけたら良いかなと思います。よろしくお願いします。皆さんの方から御質問はございませんか。

（全委員からなしとの声あり）

○教育長（森山）その他の資料のところで、事務分掌表を載せております。これ以外に、皆さんから御意見はございますか。

（全委員からなしとの声あり）

○教育長（森山）次回は、5月16日9時30分から、最初に6校の経営説明、そこから議題へ入っていくこととなりますので、よろしくお願いします。それでは4月の教育委員会定例会を終了いたします

す。ありがとうございました。

1 0 : 0 3 終了